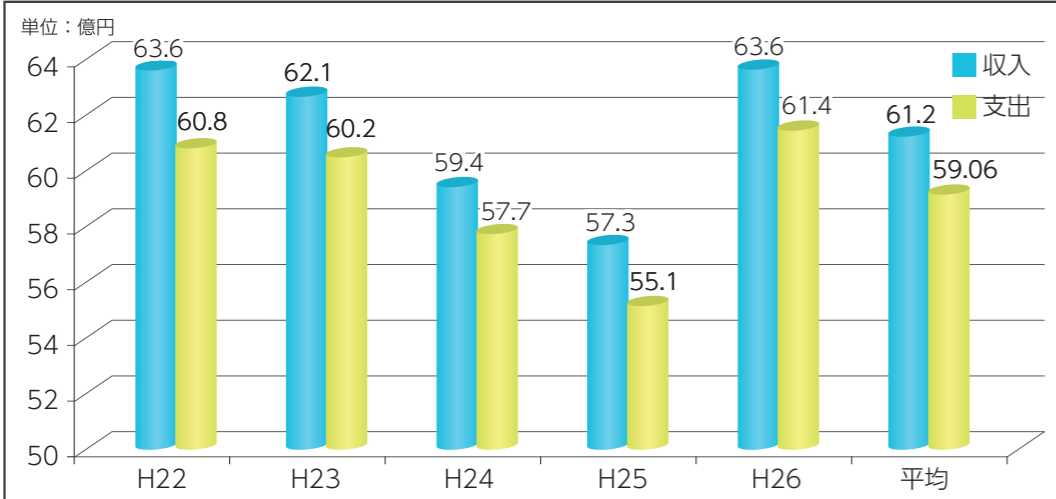


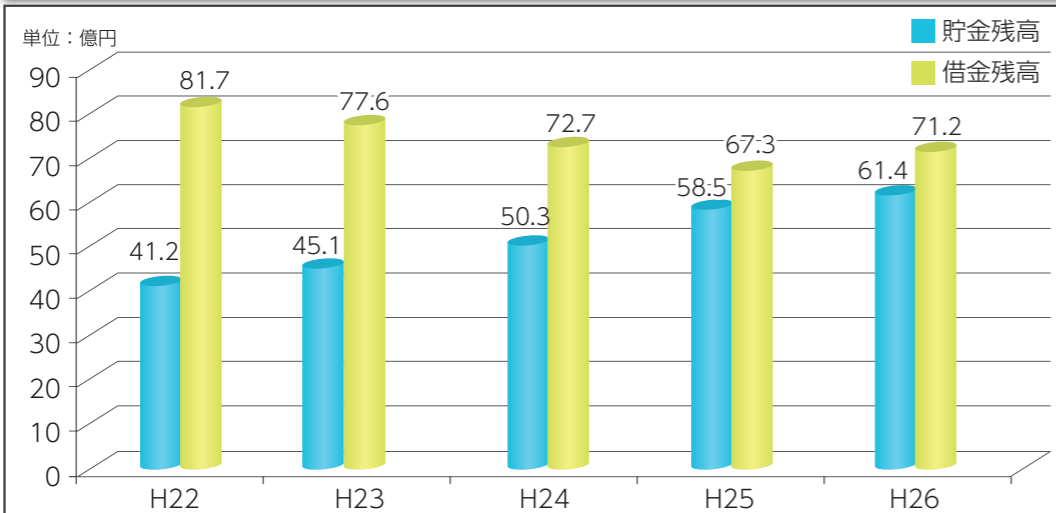
過去5年間の一般会計の収入と支出の推移

平成26年度は2億1276万円の黒字となり、毎年黒字を維持しています。



過去5年間の全会計の借金と貯金残高の推移

借金は減少傾向にあり、貯金は増加しているため、その差は縮まっています。



健全化判断比率と公営企業資金不足比率

健全化判断比率と資金不足比率は、まちの財政状況が悪くないかを確認するための指標で、法律によって公表することが義務付けられています。

新十津川町は、全ての会計で赤字はなく、将来支払わなければならない負債も無理なく返済できる金額となっています。

指 標	健全化判断比率				資金不足比率
	実質赤字比率 一般会計の赤字の大きさ	連結実質赤字比率 全会計通算の赤字の大きさ	実質公債費比率 負債の返済額の大きさ	将来負担比率 平成27年度以降支払わなければならない負債の大きさ	
早期健全化基準 (右の水準を超えると黄信号)	15%	20%	25%	350%	20%
新十津川町の比率	—	—	2.3%	—	—
説 明	赤字はありません	赤字はありません	健全な水準です	借金残高を、償還財源が上回ります	赤字はありません

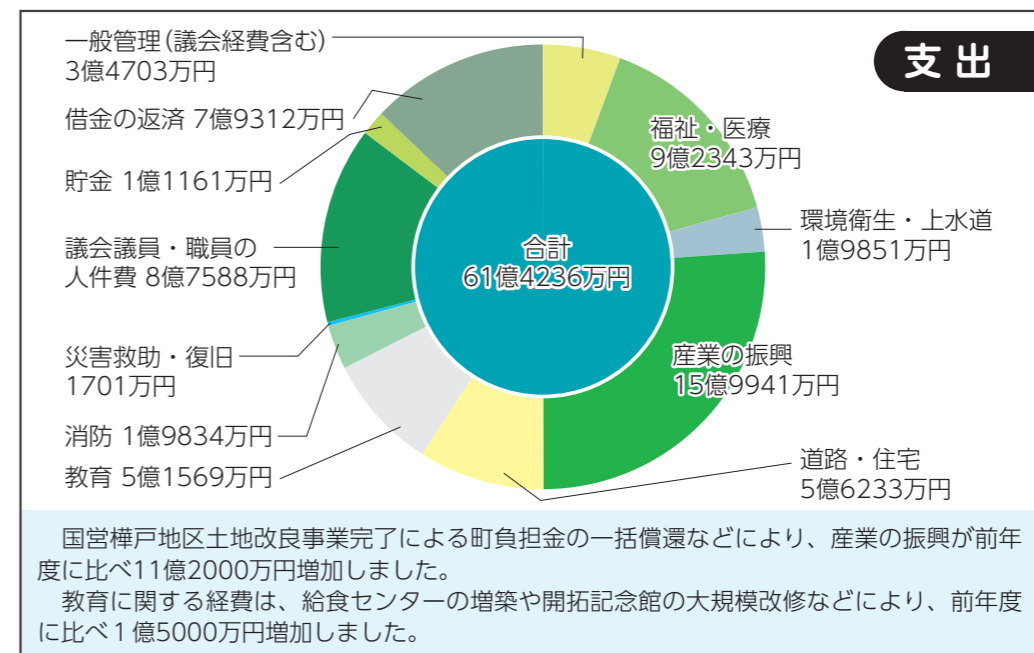
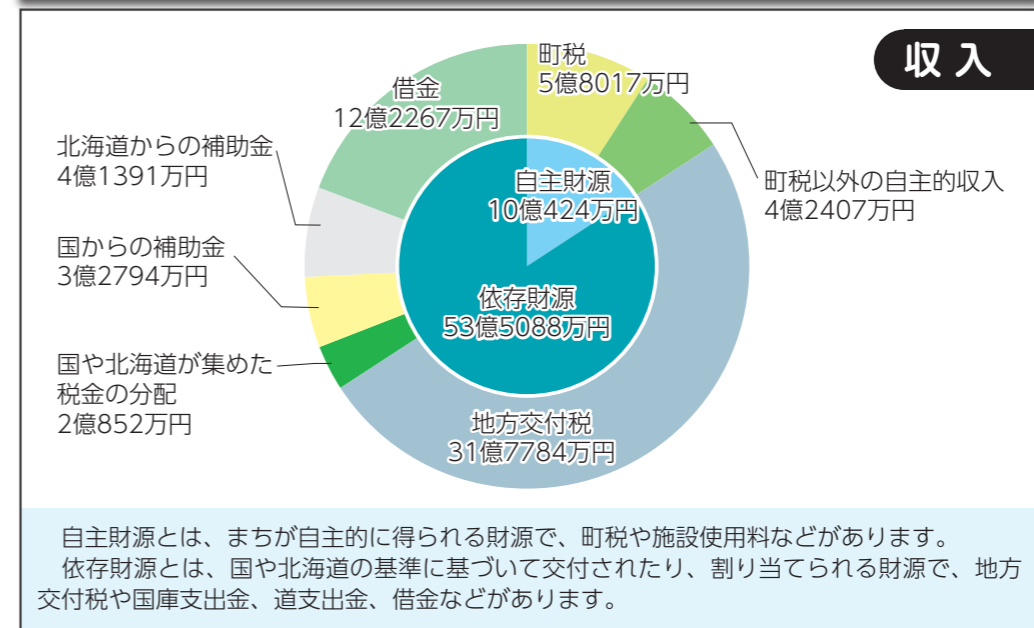
まちの財政状況

限られた財源で、計画的かつ効果的に財政運営を行っています。

平成26年度 各会計決算額

会 計	収 入	支 出	差 引
一 般 会 計	63億5512万円	61億4236万円	2億1276万円
特 別 会 計			
国民健康保険特別会計	3億8254万円	3億8160万円	94万円
後期高齢者医療特別会計	1億 272万円	1億 267万円	5万円
下水道事業特別会計	1億7572万円	1億7572万円	0円
農業集落排水事業特別会計	3035万円	3035万円	0円
合 計	70億4645万円	68億3270万円	2億1375万円

一般会計の収入と支出の内訳



平成26年度 決算の状況

町では毎年、予算の執行状況や決算について公表し、皆さんが納めた税金がどのように使われているのかをお伝えしています。ここでは、町の平成26年度決算の概要をお知らせします。なお、詳細は「まちづくり読本」(決算説明書)に掲載されています。

問合せ 総務課財務・情報グループ ☎76・2131